

日本共産党 横浜市議員 青葉区

おおぬき のりお

大貫憲夫



おおぬき憲夫 ●1947年生まれ ●県立横浜翠嵐高校卒業後、桜台で家業の酒
店を継ぐ ●1987年横浜市議員に初当選 ●横浜市議8期目 ●国際・経済・港
湾常任委員 ●元緑民主商工会会長 ●趣味は家庭菜園、男の料理 ●桜台在住

大貫のり夫



カジノはいらない キッパリ誘致NO!を示す市議会へ

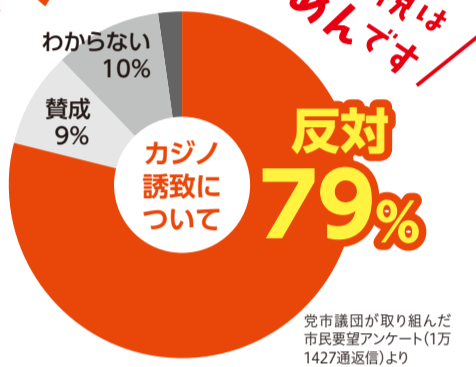
カジノは刑法が禁ずる賭博です。横浜市議会は国会でカジノ実施法を強行した自民、公明が過半数を占めています。林文子市長は、カジノ誘致を「白紙状態」としていますが、カジノ構想案を事業者から募集。誘致にむけての実質的な準備活動です。

あります! カジノを止める方法

- ① 林市長に手上げ(誘致)をさせない
- ② 議会が賛成しない

市長が誘致の手を上げて議会が賛成しない限り、カジノはやってきません。市民の声で、自民・公明が主導する議会を変え、カジノNO!!の議会にしましょう。

**カジノ推進法強行した
自民・公明・維新に厳しい審判を!**



市政に憲法・地方自治を貫きます

地方自治体の横浜市は、安倍自公政権の進める住民福祉軽視の悪政から、住民を守る防波堤とならなければなりません。地方自治の本旨です。私は8期32年その立場を貫き4人の市長と対峙してきました。その中で最も時の政府におもねり、村度し市政を運営してきたのが林市長です。

それは横浜市議会の最大会派の自民党市議団の声・政策に縛られているからです。

自民党議席を減らし、市議会の現状・風景を変えることが、横浜市政を市民重視に転換させるカギです。

一番の近道は、自民党と対置し、地方自治を大切にする日本共産党市議団を大きくしていただくことです。私も議会の生き字引としてベテランの真骨頂を発揮する真価の見せ所です。頑張ります。

出来たてで、みんなが食べられる、自校調理方式の 中学校給食の実現を

全国20政令市の中で、横浜市だけが中学校給食を行っていません。県内19市のうち、実施方針もないのは横浜市だけです。この現状を自民・公明は容認しています。林市長は、中学校給食を望む市民の声に背を向ける自民、公明に同調し「ハマ弁(注文制の配達型業者弁当)」の推進を図るとしています。

実施しない主な理由として、多額の費用と施設スペース不足をあげています。市教育委員会の試算では、小学校と同様に給食を全校で実施する場合の施設整備費は260億円です。市の一般会計予算 1兆 8千億円の 1.5%にしかすぎません。

ハマ弁は給食ではありません

学校給食法に基づかず、市の栄養士が献立をつくらず、食材も業者まかせ。栄養基準も低く、食育の教材にもなりません。

日本共産党は 全員が食べられる 給食実施を目指します



- すべての生徒が出来たての温かい栄養バランスのとれた昼食をとることができ、笑顔で会話する時間が共有されます。
- 全員喫食の給食によって食教育がすすみます。
- 調理室は、災害時の食事提供に役立ちます。
- 食材の地産地消、地元雇用にも貢献します。
- 就学援助制度で給食費が無料となり、子どもの貧困解消に寄与します。

2018年第4回定例会 中学校給食の実施を求める請願 各交渉会派の態度 共産 ○ 自民 × 公明 × 民権フォーラム ×

税金の使い方を暮らし応援へ

暮らしやすい
横浜に



自民・公明が推進する
市民の暮らし向上につながらない
大型開発・一部大企業優遇

約 **1000** 億円

- 新市庁舎420億円 ●高速道路332億円 ●国際コンテナふ頭135億円 ●外国人向け高層マンションなど都心部開発97億円 ●豪華ホテル・大企業誘致助成金22億円 ●カジノ誘致検討費1000万円(2019年度予算)

チェンジ

共産党の提案

- 中学校給食
- 特養ホーム増設
- 認可保育園の増設
- 教職員増
- 公共施設の保全・更新
- バス路線、地域公共交通の拡充 など

日本共産党を大きく
伸ばしてください

4/7
sun
横浜市議会
議員選挙